

実践研究：未来塾 ～ 学生が学び合う教員採用試験対策講座を創る ～

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-10-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 野中, 繁 メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1910

実践研究：未来塾

～学生が学び合う教員採用試験対策講座を創る～

Practical Research: Mirai Juku

～ Creating a Student-Led Lecture Series for the Teacher Employment Examination ～

野 中 繁*
NONAKA Shigeru

1 研究の目的

教育学科の学生にとって、教員採用試験は目指すゴールのひとつである。

教員採用試験の様相も時代とともに変化し、現在では、教職教養、専門教養などの筆記試験よりも面接、集団討論、小論文など人物重視の選考にシフトしている。教育学部の教員は教員採用試験に関与すべきではないといった考え方もあるが、むしろ教育学科のカリキュラムの中核に位置付けられるものだと思う。教育学科として教員採用試験で求められる教師像を掲げ、そのために必要な全人的な教師力を育成することを目的とした人材育成が求められている。

本学でも 2019 年度以前から教員採用試験対策講座が実施されていた。それは正に教員採用試験の対策講座であり、受検のテクニックを身につける場と感じた。学生たちは対策講座にまじめにしっかりと取り組んでいたが、採用試験が終わったらそれで終わりであり、はたして、教師力を高めることに繋がっていくのだろうかと感じていた。

この対策講座の集まりの中で、いくつかの自治体で学生たちが、自分たちで呼びかけ自主的に学び合っているグループがあった。千葉県や埼玉県の小学校を受験するグループである。直接のきっかけは、教員採用試験は自治体によって違いや特色があることから、地元の情報交換であった。そこから、例えば千葉県では教科や学年が指定される模擬授業が面接の中に入っているが、簡単な指導案を作るにしても一人で全教科に対応するのは大変である。グループでは、自分の得意な教科の指導略案を作り、みんなで共有することなどの助け合い、チームプレイを行っていた。学生が自ら創り出した講座は活気があり、教員採用試験の合格率も高いなど結果も良好であった。何より、卒業後も、同じ自治体の中で地域を超えた交流をしていると聞いている。

このグループ活動から「学生が互いに学び合う教職採用試験対策講座」、「受検はチーム戦」という未来塾の根幹となる発想が生まれた。学生たちが自ら創り、自らが主体となって運営してい

* 武蔵野大学教育学部

く教員採用試験対策講座、さらに、新たに準備を始める学生たちに最も有効なアドバイスができるのは教員採用試験を経験してきた先輩たちであり、対策講座の繋がりを先輩から後輩へと受け継いでいくことで、縦の繋がりがもった継続的に持続可能な教員採用試験対策講座を創る必要性を感じた。

2019年度、私は教員採用試験対策講座の担当になり、担当の先生方とともに武蔵野大学教育学部独自の教員採用試験対策講座づくりに取り組み始め、名前も未来塾と命名した。しかしながら、翌2020年度から現在に至るまで、未来塾の活動は新型コロナウイルスとの戦いでもあった。講座は大部分オンラインになってしまい、講座内容も大幅に変更せざるを得なかった。何よりも大きな影響を受けてきたのは学生たちであり、本当の意味で未来塾の狙いを検証できるのは、この先数年後になるだろう。

2 研究仮説

未来塾は教育学部が企画・運営する教員採用試験対策講座である。教員採用試験を受験する4年生を対象に担当教員が年間計画を立てて実施しているが、授業ではないので専任の教員は持ち時数へのカウントも講師料や謝金も一切ない。本学では、教員採用試験対策は3年生の9月の進路講話から始まるが、未来塾が正式に発足するのは4年生の春であり、講座は4月から8月まで毎週水曜の午後3・4限に設定している。初回に、主に自治体や校種ごとに自主的にグループづくりを行い、連絡先を交換しグループのリーダーを決定する。基本的には大学側は場をつくるのみで、学生たちが自ら作ったグループごとに集まり、講座を設定し、講師の派遣を依頼する形で行っている。

未来塾の目標は一義的には教員採用試験の合格というところに置いているわけであるから、未来塾の成果の検証は教員採用試験の合格率を指標とすることが最も現実的である。

そこで本実践研究の仮説を以下のように設定した。

【仮説】学生たちが自主的にグループをつくり、自分たちで教員採用試験を目指して学び合う場(未来塾)を設定することにより、教員採用試験の合格率を高めることができる。

3 未来塾の実践

今年度の未来塾の年間指導計画を52～53ページに示した。

未来塾は、以下のような経緯、方針、計画に基づいて作成した。

《未来塾設立の経緯》

2019年度、以前より教育学科で実施していた教員採用試験対策講座をベースに未来塾を新たに立ち上げた。未来塾の目的は教育学部の学びの集大成としての実践的な教師力を育成することであり、それはそのまま教育学部の学生の出口保障に繋がる。

本学の教員採用試験対策の中心は教職センターである。教職センターが主に教員採用試験に向けた個別指導を行うのに対して、未来塾は全体・集団指導を行うなど役割分担を明確にして、両輪となって学生の指導に当たっている。

《未来塾の理念と特色》

未来塾は、教育学科教員が企画・運営する教職のための未来を創る講座である。毎週水曜日午後
後に開催し、前半は講師によるアクティブ・ラーニング講座で、小論文の書き方講座、面接対策
講座、自治体別講座などの全体指導を講義・演習形式で設定する。後半は学生たちのグループ単
位の自主活動だがが必要に応じて講師を派遣することができる。

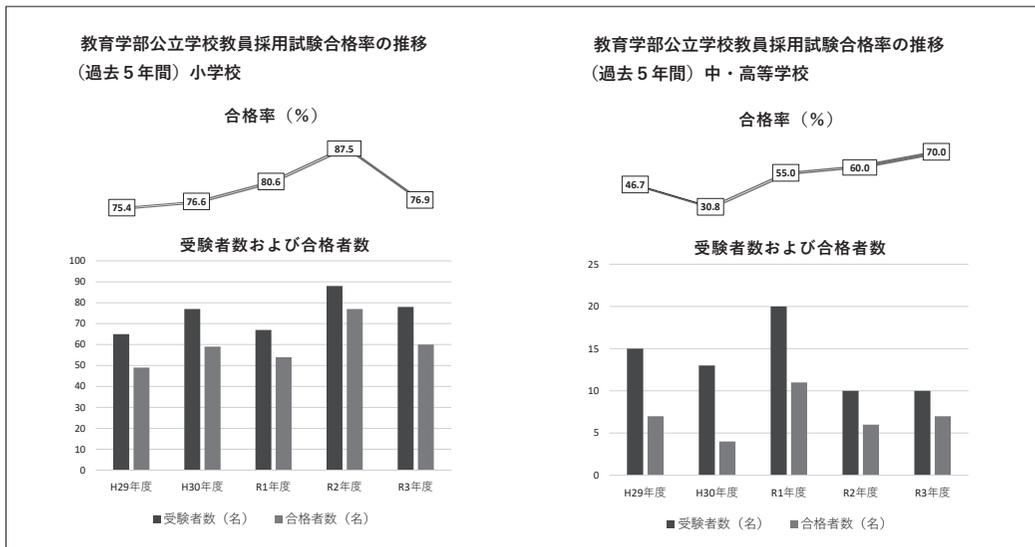
「受験はチーム戦」を指針としている。未来塾は学生の自主的なグループ活動を基盤にした教
採対策講座であり、教員採用試験後は、先輩が後輩を指導する武蔵野大学教育学科の特色ある教
採対策を目指している。未来塾は、学生が自治体や校種別やゼミ単位等、縦横に広く自由にグル
ープを作り活動していく場である。

4 結果

下図1は、最近5年間の教育学部における公立学校教員採用試験合格率、受験者数、合格者数
の推移¹⁾をグラフ化したものである。

毎年の受験者数が一定せず合格者数も変動している状況であるが、大きな流れとしては、小学
校に関しては令和2年度まで合格率は徐々に伸びてきている。しかし、令和3年度は減少したこ
とや、中・高等学校では受験者数は少ないものの合格率は上昇傾向にあることが分かる。

図1 教育学部公立学校教員採用試験合格率の推移（平成29年度、平成30年度、令和元年度、
令和2年度、令和3年度）平成3年10月27日教職センター事務局資料¹⁾による



※全学のものではなく、教育学部だけの結果です。

※旧学校教育専修、旧初等教育専修の学生の結果は「教育」（教育学科）の欄に、旧保育・幼児教育専修、旧こども発達学科の学生の結果は「幼教」（幼児教育学科）に含めて計算しています。

※受験時の区分は自治体によって「中学校」「高等学校」「中高共通」と異なりますが、この表では「中学校・高等学校」としてまとめて表記してあります。

※H29に3名、H30に1名、「大学院」から受験した学生の結果は「教育」（教育学科）の区分に含めて計算しています。

※H30年度に「特別支援教育（小学部）」で受験して「期限付き」だった学生の結果は、H30年度の「小学校」に含めて計算しています。

表1 2022年度未来塾年間実施計画

令和4年度未来塾実施計画(7案)

【令和4年度未来塾 実施方針】						
1	教員採用試験対策の主体は教職センターです。未来塾は、教育学科教員が企画・運営する教職のための講座です。例えば、個人の小論文					
2	「受験はチーム戦」を合言葉に、学生の自主的なグループ活動を基盤にした教採対策講座です。教採試験後は今度は、先輩が後輩をゼミ単位等、広く自由にグループを作り活動していく場です。					
3	基本毎週水曜日午後には開催します。3限は、講師によるアクティブ・ラーニング講座で、小論文の書き方講座、面接対策講座、自治体ことができます。					
【令和4年度未来塾 日程・実施内容】						
回	記事	月	日	内容	参加人数	3限(13:10~14:50) 教室:1101
令和3年度	未来塾出発式	9	22	全3年生対象 16時~	68	・上岡学部長講話 ・高城教職センター長講話 ・教授試験について(野中)
令和3年度	4年生から3年生への進路講話	11	11	全3年生対象 木曜日2時限	74	・全体会:4年生代表による教授試験についての体験談講座 ・分科会:自治体・校種別座談会
1	令和4年度開校式	4	20	学部長講話 未来塾オリエンテーション	64	☆学部長講話 ☆未来塾オリエンテーション(野中)①受験する自治体の情報を知るのが第一歩、②教員採用試験の流れを理解しておくこと、③筆記試験の効率的な学習法、④小論文上達のステップ、⑤可否は面接試験で決まる。 全体会~自主グループづくり 大教室1
2	【第1期】	4	27	【講座】小論文の書き方①	60	☆小論文の書き方講座① ☆小論文をどう書けばよいか。ポイント講義。小論文作成演習を含む。 担当、教室:講師2人(江原・渡辺暁)(50分×2人)、1教室
3	※まず、前半4回で、小論文の書き方の基本をマスターする。面接試験の攻略法を修得する	5	11	【講座】小論文の書き方② 【講座】面接試験攻略法②	25	☆小論文の書き方講座②(本谷、芳賀) ☆面接試験攻略法講座②(樋口、叶) 担当、教室:講師4人(25分×4人)、1教室
4	※一次で論文文を出題するのは千葉、東京、神奈川など。埼玉は二次。書かせるときは、内容、時間、字数も様々なので自治体毎で実施。	5	18	【講座】小論文の書き方③ 【講座】面接試験攻略法③	5	☆小論文の書き方講座③(山崎) ☆面接試験攻略法講座③(安達) 担当、教室:講師3人(50分×2人)、1教室
5		5	25	【講座】小論文の書き方④ 【講座】面接試験攻略法④	1	☆小論文の書き方講座④(渡辺暁) ☆面接試験攻略法講座④(渡辺英) 担当、教室:講師3人(50分×2人)、1教室
6	【第2期】	6	1	自主グループ活動	1	この間はグループによる自主的な活動を中心とするが、要望によって講座を設定する。
7	教育実習最盛期、基本自主グループ活動	6	8	自主グループ活動	0	
8		6	15	自主グループ活動	17	
9	【第3期】 集団討論や集団面接が一次である埼玉市、千葉県、全国の他県への直前対策。二次で集団討論等が入る東京、埼玉県、茨城県、栃木県。横浜市、群馬県等も早めに一度経験しておくとうい。	6	22	☆1次試験直前講座 自治体別個別対応	19	さいたま市・山口県/集団面接 浜木 一般参加者対応
10		6	29	☆1次試験直前講座 自治体別個別対応	26	中高英語グループ 和田 さいたま市・山口県・長野県/集団面接 浜木
11		7	6	☆1次試験直前講座 自治体別個別対応	14	一般参加者対応 さいたま市・山口県/集団面接 浜木
7/10 東京近県一斉一次試験						
12	【第4期】2次試験対策講座	7	13	☆2次試験対策講座 ・3限はテーマ別の講座です。 ・1~4の講座があります。 ・自治体に関係なく誰でも自由に講座を選択して参加できます。 ・事前の申し込みは必要ありません。	1	1 個人面接練習 【1103教室】 2 集団討論・集団面接練習 A 【1101教室】 3 集団討論・集団面接練習 B 【1111教室】 4 模擬授業・場面对応など 【1105教室】
13	※7/13からは3限も4限も、まず1101大教室に集合!グループを決めて会場に分かれます。	7	20	・事前の申し込みは必要ありません。 ・当日、集まった人数と希望により、講座の中身を変えたり、講座をまとめたり変更することがあります。	1	1 個人面接練習 【1103教室】 2 集団討論・集団面接練習 A 【1101教室】 3 集団討論・集団面接練習 B 【1111教室】 4 模擬授業・場面对応など 【1105教室】
14		7	27	・当日、集まった人数と希望により、講座の中身を変えたり、講座をまとめたり変更することがあります。	1	1 個人面接練習 【1103教室】 2 集団討論・集団面接練習 A 【1101教室】 3 集団討論・集団面接練習 B 【1111教室】 4 模擬授業・場面对応など 【1105教室】
15		8	3		1	1 個人面接練習 【1103教室】 2 集団討論・集団面接練習 A 【1101教室】 3 集団討論・集団面接練習 B 【1111教室】 4 模擬授業・場面对応など 【1105教室】
東京都など一次発表 8月上旬						
16	【第5期】 最終2次直前講座①	8	10	☆2次試験対策講座 ・3限はテーマ別の講座です。 ・1~4の講座があります。 ・自治体に関係なく誰でも自由に講座を選択して参加できます。 ・事前の申し込みは必要ありません。 ・当日、集まった人数と希望により、講座の中身を変えたり、講座をまとめたり変更することがあります。	1	1 個人面接練習 【1103教室】 2 集団討論・集団面接練習 A 【1101教室】 3 集団討論・集団面接練習 B 【1111教室】 4 模擬授業・場面对応など 【1105教室】
17		8	17		1	1 個人面接練習 【1103教室】 2 集団討論・集団面接練習 A 【1101教室】 3 集団討論・集団面接練習 B 【1111教室】 4 模擬授業・場面对応など 【1105教室】
東京都など 二次選考8月20日~22日頃、→→→ 最終合格発表 10月21日頃						
18	【第6期】 最終2次直前講座②	8	24	☆一部自治体で二次選考 三次選考が残っている場合、要請によって対応する。	1	1 その他希望講座(グループで事前申込)【1101教室】 2 その他希望講座(グループで事前申込)【1111教室】
19		8	31		1	1 その他希望講座(グループで事前申込)【1101教室】 2 その他希望講座(グループで事前申込)【1111教室】

2022年7月

添削や面接指導等は教職センターが担当し、未来塾は全体への講演や指導、学生の自主的なグループによる教授対策を支援します。 指導する武蔵野大学教育学科の特色ある教授対策をさらに強化していきます。つまり、未来塾は、学生が自治体や校種別や 別講座などの全体指導を講義・演習形式で設定します。4限は学生たちのグループ単位の自主活動ですが、必要に応じて講師を配置する														
学科担当	担当講師					4限(15:10~16:50) 教室:1103(主会場)、1105、1107ほか	学科担当	担当講師					コマ数	
野中														
野中														
	叶	渡辺暁	本谷	芳賀	山崎	【講座】志願表・面接表の書き方(叶、山崎)①	→ 終了後、自主グループによる活動へ	野中 全員 分担	叶	渡辺暁	本谷	芳賀	山崎	4月15 コマ
野中 全員 分担	東京G	中高	千葉G	埼玉G	他県	【講座】面接試験攻略法①	☆面接試験攻略法講座① ☆個人面接、集団面接、集団討論、面接カードから身だしなみの基本まで担当。教室:講師2人(本谷・芳賀)(50分×2人)、1教室	江原	東京G	中高	千葉G	埼玉G	他県	
江原(兼講師)	○	○	○	○	○	自主グループ活動		江原	○	○	○	○	○	
樋口(兼講師)	○	○	○	○	○	自主グループ活動		野中	千葉集团太田	○	○	○	○	
安達(兼講師)	○	○	○	○	○	自主グループ活動	【グループ活動】各グループからの要請により開講する。必要ならば講師を配置する。グループの代表は1週間前までに野中へメールで開催要請する。	安達	東京小土井	○	○	○	○	5月8 コマ
渡辺英(兼講師)	○	○	○	○	○	自主グループ活動		渡辺英	東京小加藤	○	○	○	○	
大杉	○	○	○	○	○	自主グループ活動	各グループからの要請により開講、講師配置	大杉						
樋口	○	○	○	○	○	自主グループ活動	各グループからの要請により開講、講師配置	野中						
江原	○	○	○	○	○	自主グループ活動	千葉グループ集団討論/後藤	江原						6月11 コマ
江原	○	○	○	○	○	自主グループ活動	千葉グループ集団討論/後藤 一般参加者対応	江原	○	○	○	○	○	
安達	○	○	○	○	○	自主グループ活動	東京養成塾グループ集団討論/加藤	安達						
渡辺英	○	○	○	○	○	自主グループ活動	千葉グループ集団討論/後藤 一般参加者対応	渡辺英	○	○	○	○	○	
樋口	○	○	○	○	○	・4限は東京都を想定した集団討論練習2講座、他の自主グループ(自治体別、校種別など)の希望する内容2講座を開講します。他の自主グループで講座の開講を希望するグループはメールで野中まで連絡してください。	1 集団討論練習(主に東京都型)C【1101教室】	野中	○	○	○	○	○	
江原	○	○	○	○	2 集団討論練習(主に東京都型)D【1111教室】		野中	○	○	○	○	○		
大杉	○	○	○	○	3 その他希望講座(グループで事前申込)【1103教室】		江原	○	○	○	○	○	7月	
安達	○	○	○	○	4 その他希望講座(グループで事前申込)【1105教室】		大杉	○	○	○	○	○		
樋口	○	○	○	○	・4限は東京都を想定した集団討論練習2講座、他の自主グループ(自治体別、校種別など)の希望する内容2講座を開講します。他の自主グループで講座の開講を希望するグループはメールで野中まで連絡してください。	1 集団討論練習(主に東京都型)C【1101教室】	野中	○	○	○	○	○		
野中	○	○	○	○		2 集団討論練習(主に東京都型)D【1111教室】	野中	○	○	○	○	○		
	○	○	○	○		3 その他希望講座(グループで事前申込)【1103教室】	野中	○	○	○	○	○	8月	
	○	○	○	○		4 その他希望講座(グループで事前申込)【1105教室】	野中	○	○	○	○	○		
大杉	○	○	○	○	☆一部自治体で二次選考 三次選考が残っている場合、要請によって対応する。	1 その他希望講座(グループで事前申込)【1101教室】	大杉	○	○	○	○	○		
野中	○	○	○	○		2 その他希望講座(グループで事前申込)【1111教室】	野中	○	○	○	○	○		

5 まとめと考察、今後の課題

《仮説の検証》

本研究における仮説の検証を考察する。

【仮説】 学生たちが自主的にグループをつくり、自分たちで教員採用試験を目指して学び合う場(未来塾)を設定することにより、教員採用試験の合格率を高めることができる。

未来塾が開始された2019年度から教員採用試験の合格率は年々向上の傾向がみられ、中学校・高等学校においても合格者数の増加がみられる。ただし、昨年度の小学校の合格率の低下については別に考察する必要がある。しかしこれは様々な要因が絡みあった結果であり、現時点で仮説が検証されたと断定することはできない。

《合格率の向上の考えられる要因》

合格率の向上にはさまざまな要因が関与していると考えられるが、最も大きいのは、教員採用試験の倍率自体が下がり合格しやすくなっていることである。

東京都の教員採用試験の倍率と合格率は、下表2のように変化している。

表2 東京都公立学校教員採用候補者選考(4年度採用まで)の結果について全体(小学校、中高共通、特別支援学校含む)

採用年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受験者数	14432	13335	11365	10378	9265	8607
名簿登録者数	3042	3027	3917	3418	3402	2650
受験倍率	4.7倍	4.4倍	2.9倍	3.0倍	2.7倍	3.2倍

※出典:東京都教育委員会新聞発表資料「令和3年度東京都公立学校教員採用候補者選考(4年度採用)の結果について(令和3年10月22日)」²⁾から

教員採用試験の応募者数の減少は東京都だけではなく全国的な傾向である。文部科学省の報告³⁾では、2021年度の全国の公立学校教員採用試験の倍率は3.9倍と、過去最低だった1991年の3.7倍に肉薄しており、特に公立小学校においては2.6倍と過去最低だった。教員採用試験の倍率は2000年度の13.3倍をピークに低下に転じ、それ以降は20年以上にわたって下がり続けている。

教師は決して子どもたちに人気のない職業ではないのに、採用試験の倍率が低下している理由としては大きく次の3点があげられることが多い⁴⁾。

- (1) 教職の大量退職、大量採用の時代
- (2) 民間企業への人材の流出
- (3) 教職へのイメージの悪化

特に(3)については、政府レベルからの様々な対策がなされているが、教育学部の学生は学校現場での、長時間労働や、教員による不祥事や、生徒や保護者への対応に追われ疲弊している

教員の姿を見るにつれ、教師イコールブラックというイメージが強くなっている傾向が大きいと推測される。特に最近、学生たちが教師になりたいという意欲を持ちながらも、それを継続していくことに難しさを感じ、直前で教職から逃げてしまうケースが多く見られる。日本の教師のなり手不足はもはや警報レベルであり早く抜本的な対策を講じなければならないと感じている。

もちろん、これだけが合格率の向上の考えられる理由ではない。その他の要因も含め、未来塾で、学生たちが自主的にグループをつくり、自分たちで教員採用試験を目指して学び合う場（未来塾）を設定することにより、教員採用試験の合格率を高めることができたか否かの判断は、もう少し先のことになると思う。むしろ、合格率を上げることよりも、教師になりたいという思いをより現実的で強いものにしていくことを、4年間を通して育てていくこと、すなわち教員採用試験の受験率をあげることを今後の未来塾の目的にしなければならないのではないかと感じている。

《昨年度の小学校の合格率の低下について》

昨年度の小学校の合格率の低下については、東京都に関していえば名簿登録者数が大幅に減ったことが最大の理由であろう²⁾。新卒者以外の人材確保の道を広げる動きが、様々な自治体で見られている。そして、この正規の教員数を増やさない傾向は、未来の日本の教育にとっての最大の危機であると思う。

もちろん、それ以外にも、学生の志向や熱意は年によって変化があり均一ではないこと、特に本学では、中学校、高等学校を目指す学生の割合が年々増加し、学生集団の行動傾向が年々変化していることなども大きな影響をもたらしていると考えられる。

《今後の未来塾の課題について》

1 未来塾では、受験はチーム戦を唱え学生の自主的なグループ形成を働き掛けてきた。未来塾は場の提供であり、学生たちに自治体や校種ごとの自主グループを組織させ、互いに学び合い高めあう塾として要請があれば講師を付けることができる形を目指してきた。

その結果、昨年度では、グループ編成が円滑に進み活動も盛んだった千葉グループ、埼玉グループ、茨城グループなどでは、一次試験全員合格といった成果に結びついている。教科を超えてまとまって取り組んだ中高グループも一定の結果を出した。一方、大所帯であるがゆえに、グループとしてのまとまりが作りづらく、組織的な活動に繋がらなかった東京都小学校グループでは、未来塾の趣旨がうまく活かせなかったことは大きな反省点である。東京都小学校グループでは、昨年度に比べ一次の不合格者が増加した。

グループを形成することが必然的に、または規模的に難しい学生への働きかけを、どのように進めるかが今後も大きな課題である。

2 新型コロナウイルスへの対応が現在も継続する課題である。大学では授業はすべて対面で行われているが、外へ出たがらない、マスクを外さない行動は既に定着したものとなっている。これが未来塾のような参加が自由な対面式の講座や集いに参加しない傾向を生み、コミュニケーションが深まらない状況を発生させている。この影響はまだしばらくは続いていくであろう。

コロナ禍の影響が未来塾にどう表れたのかについては今後検証する必要がある。

また、これまで実感することはなかったが、教育学部の学生は、先輩から後輩へ何らかの相互作用的な刺激など、学部全体の伝統や雰囲気の醸成が強みとしてあったのかもしれないと感じる。それがオンライン下で最も欠けてしまったものだと思う。おそらくこの大学も同じような状況はあると思うが、本学のような小さな、まとまりのある集団では特に影響があったと思う。

教員採用選考試験への出発点を年間計画にしっかり位置付け、先輩から後輩へ、学科として体系的に取り組む必要を感じている。特に、3年の秋からそのような雰囲気を積極的に形成しておく必要があると感じている。さらに、今回考察したように、教職から逃げる学生たちに教職への思いを高め定着させて受験率を高めることも新たな目標にしていく時期が来たと強く感じている。

引用・参考文献

- 1) 教育学部公立学校教員採用試験合格率の推移（平成29年度、平成30年度、令和元年度、令和2年度、令和3年度）平成3年10月27日教職センター事務局資料
- 2) 「令和3年度東京都公立学校教員採用候補者選考（4年度採用）の結果について 東京都教育委員会（令和3年10月22日 公表）
- 3) 令和3年度（令和2年度実施）公立学校教員採用選考試験の実施状況について 文部科学省（令和4年1月31日 公表）
- 4) 『令和の日本型学校教育』を担う教師の人材確保・質向上プラン 文部科学省（令和3年2月2日）